

しんりん

2024 年 4 月号

vol.132

〒949-8311 新潟県中魚沼郡津南町中深見乙2176
発行／津南町森林組合 TEL.025-765-2510



さんさん事業 中子地区

新年度に向けて

代表理事組合長 涌井 九八郎

今冬は三年ぶりの小雪となり、これも温暖化の影響が出ているのでしょうか。穏やかな冬を過ごした分、春以降の天候が気になるところです。

組合員・町民各位におかれましては、平素より組合運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当組合においては一月末日をもって令和五年度事業が終了し、去る三月二十四日に第五十七回通常総代会を開催することができました。コロナウィルス感染も昨年五月に第五類に移行し人々の動きも徐々に増えてきていることもあり、今総代会はご来賓をお迎えしての開催となりました。

なお令和五年度の事業実績としては総取扱額で前年実績一〇二%の二十一億三千万円、当期利益につきましては前年実績八十四万円から少し改善し九百二十五万円となりましたが、まだまだ厳しい状況は続いております。

今期においては、各集落から要望の強い農地周辺森林整備事業の継続や、主伐再造林に取り組むとともに、引き続き広葉樹の植林も実施して参ります。

世界では地域間紛争が続くなか、当組合も化石燃料などの諸物価高騰、物流問題等影響が残り、生産・製造部門においては今だ厳しい環境下にはありますが、生産性向上と経営体質の更なる強化に努めて参ります。

新年度におきましても組合員各位は下より町民の皆様にも、より一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

総代会開催

三月二十四日(日)組合大会議室において第五十七回通常総代会を開催しました。

議長には正面の久保田利昭総代が選任され、スムーズな議事進行で全議案承認いただきました。

コロナ感染症が第五類に移行したとはいえ、今期も大変厳しい経営が予想されますが役員一丸となり努力してまいります。組合員の皆様、ご協力の程よろしくお願いいたします。



涌井代表理事組合長開会あいさつ

出席状況

現総代数	195人
本人	63人
委任	6人
書面	86人
計	155人
率	79.5%



総代会議長の正面 久保田利昭総代

質問ご意見



大割野 山本龍徳 総代

SDGsの取り組みは？



船山 富澤實 総代

人口減少への将来ビジョンを



正面 太田弘巳 総代

薬剤散布で花粉症対策を

貴重な意見をいただきました。ありがとうございました。



根津和博 様



星野航 様



村松二郎 様

ご来賓祝辞を頂戴しました

津南町副町長
南魚沼地域振興局農林振興部副部長
新潟県森林組合連合会長
津南町議会議長
十日町地域森林組合長
栄村森林組合長
日本食研(株)津南営業所長

根津 和博様
星野 航様
村松 二郎様
恩田 稔様
太田 耕司様
久保田道一様
南雲 誠様

表彰

小池 中島 宏和 様 業務協力員 10年
谷内 関澤 徳仁 様 業務協力員 10年
長期間大変お世話になりました。感謝です。

森林木材部

主伐・再造林

この冬は組合員の皆様の多くは除雪作業から解放され、比較的快適な生活を送れたことと思います。一方、雪を冬の仕事にされている方々には厳しいシーズンになったのではないのでしょうか。

さて、町内では戦後大変な労力を費やし植栽、保育した杉の多くが伐期を迎えようとしています。

前回の広報誌でも少し触れましたが、現在組合では主伐再造林に取り組んでおります。



主伐～地拵え同時進行による低コスト施業



新潟市内へ出荷される主伐材

今年度より国は花粉症対策の一貫事業で、主伐再造林に対して補助率が大幅に上がる予定です。

この事業は無花粉のスギ苗、広葉樹の苗木を植栽することが必須となります。

現在の木材価格では、意欲がわかない事は誰もが感じる問題ですが、伐期を超えた杉は品質が落ち、収穫量も減り、CO2の吸収も含めて衰退の一端を辿ります。

町でも引続き町単助成「豊かで美しい森林整備事業」により所有者の負担軽減を目指していますので、この機会に利用してみたいかがでしょうか。

経費、収支見込等については、場所、材質等により異なりますので、詳しい内容は組合へお問い合わせ下さい。

森林整備作業員募集

主に伐採・刈払い作業となります。

未経験者の方も歓迎！資格取得費用は組合が負担！

詳しくは組合またはハローワークへお問い合わせください。



特産部

新商品のご紹介



今回は、新商品「チルド味山菜 1kg」をご紹介させていただきます。当組合の山菜加工場ができた当初より製造しております「味山菜」がチルド商品としてリニューアル。山菜原料を加工して、日本食研 HD 株式会社様へ出荷しております。そば、うどんのトッピングを中心に、今年度の売上増加を期待している商品でもあります。



山菜集荷終了のお知らせ

長年にわたり生産者の方々よりご協力いただいております山菜集荷ですが、集荷量の減少、人員不足もあり継続が困難となり、令和 6 年度より山菜集荷を終了させていただくことといたしました。長い間ご協力を頂きました生産者の皆様には心より感謝を申し上げます。大変ありがとうございました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



農事組合法人ありくら 石澤 正喜さん

“繋ぐ人” 軸が太く、食感と風味が素晴らしい山えのき。野生種えのき独特の風味も相まって、様々な料理にご利用頂いています。

平成 30 年に不慮の火災に見舞われ、生産を停止していましたが、種菌を繋ぎとめて令和 2 年に再稼働。

石澤さんのえのき茸は全国にファンがおり、毎日全国発送。種菌を繋ぎ、人を繋ぎ、美味しさを繋ぐ。石澤さんは“繋ぐ人”として日々努力しています。



育ててみませんか？

キクラゲ

育て方は簡単！菌床に切れ目を入れて朝夕水をかけると育ってきます！

しっかりとした肉厚のきくらげは、食感も風味も一味違います。卵とし、酢の物、油炒めなど活用は無限大!! 乾燥し保存もかんたん!!

限定 600 個で販売します。是非ご利用ください。

【注 文】4 月～5 月末

【引渡し】6 月下旬

価格：本体 600 円（税込 660 円）

TEL 025-765-2510

きのこセット販売受付中！

日頃お世話になってる方への贈答品に…注文受付中です。是非ご利用ください。



A

きのこセット
2,160 円（税込）



B

きのこドレッシングの
セット 2,592 円（税込）

※ 送料クール便発送 1 箱 1,300 円（税込 1,430 円）
本州以外は別途料金となります。

お問い合わせは、きのこ部販売課（石沢）までお願いいたします。
TEL 025-765-2510 FAX 025-765-4590

協同組合の父「賀川豊彦」

国連は二〇二五年を国際協同組合年とすることを宣言しました。二〇一二年に次ぐ二度目の決定となります。

今回は大正から昭和・戦後にかけて日本における協同組合事業の基礎を築いた「賀川豊彦」について二回に分けて載せることにしました。

組合組織としての経営

森林組合、農業協同組合、生活協同組合その他数多の組合と名の付く組織は目的を同一にする組合員の出資によって設立され、共助組織として組合員の利益及び利便性向上への自発・自立・自治が第一義に求められる非営利団体です。

一方で組合は経済事業を柱として組織の存立を図っていかねければなりません。当然民間企業とあらゆる面で競争しながら生き延びなければ存立は叶わないし、そこで働く人達には世間並の給料が必要となります。民間企業は先々採算性が望めな

れば部門整理なり撤退することは容易ですが、組合となれば組合員を第一義と考えると簡単には整理できません。

日々、その辺の処で悩み苦しみ、そして決断を求められる。そんな折、協同組合の祖賀川豊彦に触れる機会がありました。

賀川豊彦という人

昨年夏、新潟県協同組合間連携研究会が開催され、協同組合の父賀川豊彦に係る講演があることから参加することにしました。というのは当組合の大連携先である日本食研HDには賀川豊彦の出版物や資料が大量に

展示しており、その理由は大沢一彦会長の父となる宣直さんが賀川を信奉しており、一彦の名も長男であることと賀川の「一粒の麦」の一を、豊彦の彦から名付けたと聞いていたからです。講演を聞いた後、大沢会長にその話をしたところ、賀川豊彦に係る資料を大量に送って頂くこととなりました。勿論、大沢一彦氏本人も大の信奉者であるとともに、生協や賀川財団への支援、役員を続けています。

賀川は明治二十一年徳島県の裕福な家に生まれましたが、四歳で両親を失い本家に預けられ中学時代には宣教師の支援を受けキリスト教徒となりました。以来自ら病苦にある中でもスラム街に生活し、貧しい人たちの救済運動に取り組む他、「一粒の麦」「死線を越えて」など多くの小説を書いたようです。

戦後、幾多の功績でノーベル文学賞候補に二回、平和賞候補に三年連続なるとともに、彼の著作や功績は国内より海外に知られ、シユバイツァー、ガンジーとともに「二十世紀の三大聖人」と称えられました。

賀川豊彦記念

松沢資料館

昨年秋、日本食研HDでの会議の帰途、世田谷区にある松沢資料館を訪問することができました。賀川に係る資料館は鳴門市や神戸市などにもあるようですが、講演を頂いた公益財団法人賀川事業団「雲柱社」の刈谷常務理事に一度お会いしたかったのもあります。刈谷氏は新発田市の出身で来客があつたにも拘わらず二時間に亘って教会の案内やら賀川の話をして頂きました。

松沢資料館は賀川が戦中から亡くなるまで住んだ家であり教会でもあります。刈谷氏は暮れに公開された黒柳徹子をモデルにした「窓辺のトットちゃん」に出てくる教会はここであり、長嶋一茂もこの教会の幼稚園に一時通ったなどの説明もしてくれました。その後も刈谷氏からは賀川豊彦研究会のニュースレターを頂いています。

きのこ編



<その5> (毒キノコ) ツキヨタケ・スギヒラタケ 24.4

今迄の4回は食用栽培きのこを取り上げましたので、今回は身近にある毒きのこについて書いてみました。

先ず誰もが知っており、しかも秋になれば最も中毒例が多いツキヨタケです。このきのこは早秋から主にブナの枯れ木に生え、食用のムキタケ(カタハ)やシイタケに間違えられ、中毒の原因となってしまう。ツキヨタケとは月夜に発光することから付けられた名前と思われますが、私も高校生の時切明温泉の奥にある渋沢でキャンプをしていた折り、昼間採った大きなきのこが夜青白く光っているのを見て驚いた記憶があります。ただ、どうしてムキタケやシイタケと間違えるのか不思議でなりません。ムキタケについては後編で紹介しますが、時期はツキヨタケより遅く毎年大

量に採って来ます。ツキヨタケの中毒となる成分は表面にリンが多くこれが月夜で光り、食べるとおう吐や腹痛・下痢の原因になると思われます。

次にスギヒラタケ(スギタケ)は名前のとおり杉の枯れ株に生えるきのこです。子供の頃9月中旬になると祖母に連れられ、このきのこ採りを楽しみに近くの杉林に行ったものです。秋最も早く出るきのこで味噌汁やピーマンなどと炒めたものは特に美味しく、最近までいつものように食べていました。

かつてはこのスギヒラタケも食用に分類されていましたが、10数年前秋田県を中心に、その年だけ死亡例が続いたことから食用が禁止となりました。それまで直売場などでも売られており、今は店頭に並ぶ事はなくなっています。中毒成分は不明のようですが腎臓疾患のある方は絶対食べてはいけません。



職員紹介

新しい仲間を紹介します。
(R5.4 ~ R6.4)
どうぞよろしく
お願いいたします。



〈森林課〉徳永香菜(十日町市)



〈特産生産課〉宮内圭太(十日町市)



〈特産生産課〉桑原幸一(貝坂)



〈特産生産課〉小川竜太(十日町市)



〈特産生産課〉吉樂未乃梨(十日町市)



〈特産生産課〉藤木文香(米原)

あしがき

ようやくの春ですね！小雪でしたが、だらだらと春を迎えた感じで、ブナの芽吹きと小鳥のさえずりにワクワクする毎日。大好きな山菜取り季節到来。津南はおいしい物が本当に多いと思う。空気、水、山菜で“つなん”を盛り上げましょう！



職員募集

津南町森林組合と一緒に働いてみませんか！

工場見学お気軽にご連絡ください。
総務部 金澤まで TEL025-765-2510



津南町森林組合 総代選挙

現第19期総代さんの任期が
本年8月7日です。

日程

1 町内6地区で説明会

7月13日(土)午後1時30分～

2 第20期総代選挙

7月30日(火)